

狛江市

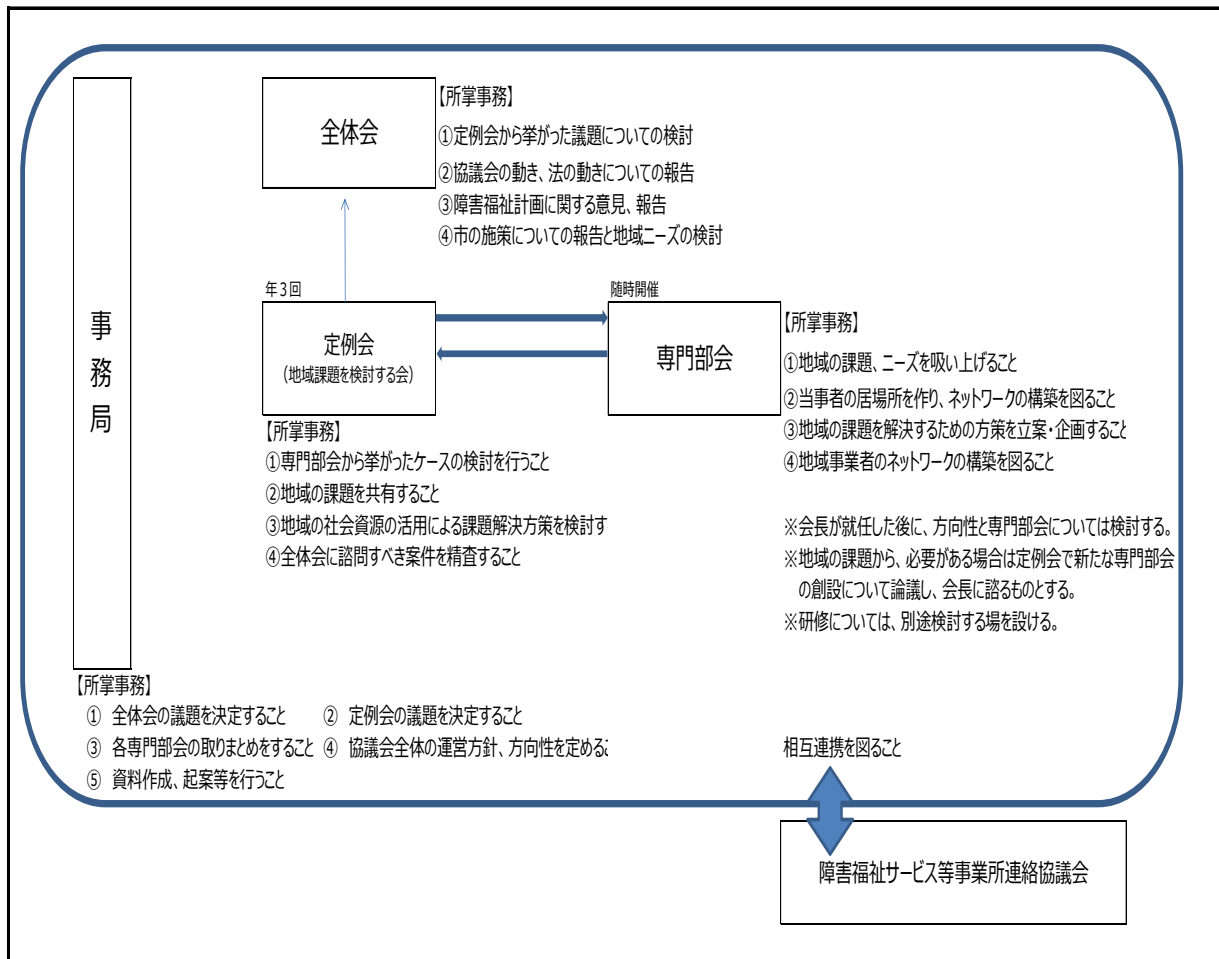
【名称】 狛江市地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/51.35067.451.html>

【設置年月】 平成22年7月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
0	1	2	2	3	2

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	未定	未定

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
3	14 (2)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
生活支援の課題を考える部会	24	18 (0)
ペガサス(当事者)部会	13	2 (2)

※「委員数」の(): 当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	2	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	3
障害福祉サービス等事業者	2	社会福祉協議会	0	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	1		

合計	14
----	----

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	江國 泰介		学識経験者	
2	副会長	日比野 浩		相談支援事業者	
3		東 貴宏		相談支援事業者	
4		大仁田 妙子		相談支援事業者	
5		橋爪 克幸		障害福祉サービス等事業者	
6		高橋 基子		障害福祉サービス等事業者	
7		上遠野 秀夫		民生委員・児童委員	
8		沼田 洋平		その他	児童発達支援事業者
9		沖谷 共子		教育関係機関	
10		大島 一栄		教育関係機関	
11		山科 美絵		保健所	
12		牧 奈苗		障害当事者・家族・関係団体	
13		飯田 なおみ		障害当事者・家族・関係団体	
14		加藤 智美		雇用関係機関	

(2) 活動内容

各部会の報告、定例会から挙がる地域課題の共有、情報提供、障がい者計画・障害福祉計画の進捗状況の確認、その他

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

部会 種別	生活支援の 課題を考える 部会	ペガサス (当事者)部会
学識経験者	0	0
医療関係者	0	0
保健所	0	0
教育関係機関	0	0
雇用関係機関	0	0
企業	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	2
身体・知的障害者相談員	0	0
相談支援事業者	0	0
障害福祉サービス等事業者	13	0
社会福祉協議会	0	0
法曹関係者	0	0
民生委員・児童委員	0	0
地域住民	0	0
行政職員(区市町村)	5	0
行政職員(都)	0	0
その他	0	0
計	18	2

(2) 活動内容

部会名称	活動内容
生活支援の課題を考える部会	ケース事例を通じた地域課題の検討・抽出
ペガサス(当事者)部会	当事者が参加するイベントの企画・実施

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項(複数回答)

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

介護保険制度との連携について

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

介護・高齢分野をはじめ、教育や児童分野と障害福祉分野を繋ぐネットワークについて

⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

拠点の整備状況について

⑩ 障害福祉計画等に関すること

障がい者計画、障害福祉計画に関する進捗状況について

2 協議会としての役割(複数回答)

② 情報共有・情報発信

社会資源に関する情報共有や、障害福祉関係機関の取り組んでいる事業等の共有を行う。

⑤ 地域課題の整理

定例会から挙がる地域課題について、情報の整理を行う。

⑥ 課題解決に向けての検討

定例会から挙がる地域課題の解決方策について、より専門的な見地から検討を行う。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

進捗状況の確認を行い、必要に応じて数値の修正等について意見を具申していく。

⑪ 相談支援過程における評価(相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言)

全てのサービスの根幹である相談支援の質をあげるため、評価や研修等をどのようにしていくかを提言していくことが必要

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法(複数回答)

②全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容(複数回答)

⑫ ライフステージを通じた支援

地域の課題に対して委員で情報共有を行い、各自治体の状況などを報告した。

4 協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)が参加していくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

委員との関係を築くまでに時間を要することが課題だが、それにより気付かされることも多くあり、その委員に合わせてできる対応を行うように心がけている。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸いあげられる協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

地域課題の抽出から地域課題の優先順位をつけていくに当たり、小さな声はどのように拾いあげていくべきか課題と感じている。